

こんにちは、虹色通信(なないろつうしん)です。

こんにちは、いつもお世話様です。虹色通信(なないろつうしん)です。しばらく失礼しておりました。今回も仕事を理由にできないのですが、間が空いてしまいました。申し訳ございませんでした。今年3回目の虹色通信になります。よろしくお願い致します。

通算32回目の今回はちょっと堅いお話になるかも知れませんが、法律のお話をしたいと思えます。今年の6月20日に建築基準法が改正されました。今回の改正はいわゆる「姉齒事件」に端を発した、構造計算偽装問題に対する改正点が一番のポイントになっています。それに伴って皆様が一番関係があるのは、新築される際に提出する「**建築確認**」になります。皆様、建築確認はご存知だと思いますが、簡単にご説明します。建築確認は県の建築課に提出し、これから作られる建物の図面・書類が法律上に適合しているか確認する為の書類です。この書類が合格しないと、建物を建築する事ができません。これは新築に限らず、増・改築も対象になります。この書類は都市計画上の指定地域にある建物は全て対象になりますが、その指定地域以外の地域は不要になります。弊社のある長和町はその対象地域外ですが、上田市は地域により対象になります。しかし長和町でも**特殊建築物**は建築確認が必要になります。特殊建築物とはお店・工場・アパート等の特別な建築物を指します。その建築確認で一番皆様に影響のある部分は、この建築確認の審査期間です。今までは最長で21日でしたが、今回の改正で35日・最長70日まで延長可になりました(住宅で70日はないと思えますが)。簡単に言うと、前より確認が厳しくなったのです。特に厳しくなったのは、構造計算の部分です。提出する書類も増え、チェックする時間もかかるようになりました。ですので前より、図面作成して提出し、確認を受けて着工するまでに時間を要するようになりました。専門的な事項は、私達業者が対応しますが、皆様は**プランができてから着工するまでに、前より時間がかかる**という事だけご理解下さい。時期的にいつまでの工期でという工事が、難しくなると思われます。ですので、工事完成時期のご希望がある場合は、余裕のあるプラン作りが必要となってくると思われます。御参考になさって下さい。

余談ですが今回の法律改正で、私達建築士の法律、「建築士法」も改正になり、罰則等の強化がされました。私達もより、プロとしての意識を再認識しないといけないと痛感しております。

新潟県中越沖地震について

また地震が起きてしまいました。皆様方のお家でも揺れを実感されたかと思えますが、今回の地震は平成16年に起きた新潟中越地震と似た揺れ方をしたそうです。しかし今回が異なる点が一点あります。それは新潟県柏崎市と長野県飯綱町と、2県をまたがって被害が発生した事です。原因はいくつかあると思えますが、その中でも**地盤が軟弱**であったという点が見受けられます。特に柏崎市の中心部は、軟弱な沖積層の上に砂丘が薄く乗っている状態なのです。沖積層(ちゅうせきそう)とは、約2万年以降に形成された比較的新しい地層で、河川等により運ばれた腐植土・泥土が堆積して形成される層です。この層は地下水を豊富に含んでいる為、地盤沈下や液状化が起こりやすいのです。液状化は地盤が液体のようになってしまう状態で、砂地の地盤に起こりやすいです。水を含んだ砂をイメージして頂ければ、わかりやすいと思えます。このような地盤に家を建てられる際は、基礎の下に杭を入れる等対策はあるのですが、それよりもまず一番は、建てられる土地がどのような地盤か、よく見極める事が大事だと思います。その地盤によって、対処の仕方が変わってくるからです。地盤は住宅にとっても、とても重要な部分です。

M-ONE HOME

集い(つどい)

(株)モリケン

TEL:(0268)68-2225

FAX:(0268)68-2196

森田携帯(090)2215-8356

URL: <http://www.moriken-motto.com> E-mail: mail-info@moriken-motto.com

今月の話題です。

今月というか、近況のお話になると思います(笑)。月日は経つのは早く、桜が咲いていた春から梅雨になり、じきに夏を迎えようとしています。

6月に行なわれた小学校のクラスの交流授業というのがありまして、それに参加して参りました。これはクラス別の授業で保護者が主催し、先生・生徒・親と一緒に交流するものです。息子のクラスは授業時間でスポーツをやったそうです。3年生の娘のクラスは牧場まで出掛けて、バター作りとソーセージ作りを体験しました。娘はバター作りに挑戦しました。私も知らなかったのですが、牛乳を振っていても、バターにはならないのですね？(笑)脂肪分の強い成分だけを集めて作る事を知りました。振っていると(写真左)、徐々に固まってきます(写真中左)。それをクラッカーに付けて食べていました(写真中右)。手作りのバターは美味しそうでした(笑)。

帰りに動物と触れ合ってきました(写真右)。娘は山羊が珍しかったのか、しきりに餌を与えていました。私の子供の頃は近所にも山羊が飼われてて、決して珍しい存在ではありませんでした。

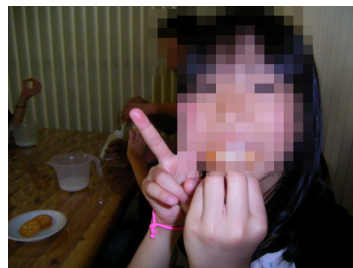
皆様、山羊の乳は飲んだ事ございますか？私はあります。牛と比べると、脂肪分が強く、ちょっとクセがあります(笑)。機会があれば、子供にも飲ませてみたいですが、私はとても貴重な体験をしたのかも知れません。



写真左



写真中左



写真中右



写真右

このような活動もしております。

実は今、弊社は建設業と違う活動もしております。それは長和町における、都会の中学生の農業体験事業です。下の写真は、弊社が長和町の事務局を運営している、「いき生耀ながわ(いきいながわ)」の活動写真です。これは関東近郊の中学生を、長和町内のあらかじめ登録した農家さんに振り分け、それぞれ農業体験させるのです。農家さんに行った中学生は農業体験する子・名勝地を巡る子等、時間内を農家さんと過ごすのです。中学生は授業の一環で参加し、後でお礼文を農家さんに送ったり、農家さんは写真をお送りしたり、交流があります。農家さんも「久々に楽しかった。また受け入れたい。」という感想が多く寄せられました。それにわずかですが、農家さんにも体験協力費が入るのです。建設業の他にも、地元の活性化に協力したいという思いから始まりました。今まで3校の中学校と台湾の高校・中国の中学校各1校ずつを受け入れました。これからも、たくさんの学生を受け入れていきたいと思っております。



M-ONE HOME

集い(つどい)

(株)モリケン

TEL:(0268)68-2225

FAX:(0268)68-2196

森田携帯:(090)2215-8356

URL:<http://www.moriken-motto.com> E-mail:mail-info@moriken-motto.com

